

山形県内中学校技術・家庭科における

教育課程の実態調査 質問紙

2, 平成15年度の年間指導計画(必修の時間)についてお知らせください。

A1 平成15年度の年間授業時数をご記入ください。

	第1学年	第2学年	第3学年
技術科			
家庭科			

A2 技術・家庭科の授業時数の過不足について、あなた(記入者)の考え・意見をお聞かせください。

対象	授業時数の過不足	どんな点から・理由・意見など
第1学年	不足・妥当・過剰	
第2学年	不足・妥当・過剰	
第3学年	不足・妥当・過剰	

A3 改訂に伴う、技術・家庭科の授業時数について、ご意見があればお聞かせください。

B1 技術分野と家庭分野の開設方法について該当するもの1つに 印を付け、そのように実施している理由と問題点をご記入ください。

前期・後期に分けて行う。

技術分野と家庭分野と隔週で行う。

技術分野と家庭分野を毎週1時間ずつ行う。

座学の場合は毎週1時間ずつ、実習の場合は2時間ずつの隔週の併用。

その他()

理由・問題点

B2 平成5年から現在までの間に上述の開設方法は変化しましたか。変化した場合、上述の何番から何番へ変化したかご記入ください。

() () ()

3, A1 「技術とものづくり」における製作題材とその使用材料の状況についてお知らせください。

製作題材名	使用材料	キット教材の使用の有無	材料費 / 1人
		有・無	円
		有・無	円
		有・無	円

A2 次に、上記で伺った製作の中で生徒に行わせている加工方法と、使わせている工具に 印を付けてください。

なお、加工方法については、その際使用した材料(木…木材、金…金属、プ…プラスチック)に 印をお付けください。

加工法

けがき	[木・金・プ・他]	切断	[木・金・プ・他]
切削・旋削	[木・金・プ・他]	かきとり・ほぞつぎ	[木・金・プ・他]
折り曲げ	[木・金・プ・他]	穴あけ	[木・金・プ・他]
くぎ接合	[木・金・プ・他]	ねじきり	[木・金・プ・他]
接着	[木・金・プ・他]	リベット接合	[木・金・プ・他]
ねじ接合	[木・金・プ・他]	はんだ接合	[木・金・プ・他]
やすりがけ	[木・金・プ・他]	塗装	[木・金・プ・他]
測定・検査・修正	[木・金・プ・他]		

工具

1) 両刃のこぎり	2) 片刃のこ	3) 胴付きのこ	4) 平鉋
5) 玄能	6) 釘抜き	7) のみ	8) 釘しめ
9) きり	10) ペンチ	11) ハンドドリル	12) ドライバー
13) さしがね	14) クランプ	15) 直角定規	16) すじけ引き
17) 棒やすり	18) 紙やすり	19) なた(おの)	20) 万力
21) 砥石	22) のこやすり	23) 鋼尺	24) けがき用コンパス
25) けがき針	26) 直定規	27) センタポンチ	28) 定盤
29) Vブロック	30) トースカン	31) 金切りバサミ	32) 押し切り
33) 弓のこ	34) プラスチックカッタ		35) 研磨剤
36) ドレッサ	37) のこやすり	38) ベルトサンダ	39) 旋盤
40) リーマ	41) 刀刃	42) アクリル折り曲げ用ヒーター	
43) 折り曲げ機	44) タップ	45) ダイス	46) 外パス
47) ノギス	48) マイクロメータ	49) 小型帯鋸盤(ラクソー)	
50) 糸のこ盤	51) 丸のこ盤	52) 卓上(スライド)丸のこ	
53) 電気丸のこ	54) ジグソー	55) 自動鉋盤	56) サンダー
57) グラインダー	58) 卓上ボール盤	59) 電気ドリル	60) 角のみ盤

4 , 指導内容の重視項目とその程度についておしらせください。

以下の各項目について、あなた（記入者）の指導方法で当てはまる（ 、 、 、 ×）印を付けてください。

* 基準 *

・実践・実験的に実物などを用いて指導している	
・ことば・文字・図・写真やマルチメディアを用いて指導している	
・ことばのみ、又はことばと文字を用い指導している	
・指導していない	×

A1 ものをつくる技術

加工技術の発達		新エネルギー(太陽光発電など)	
エネルギー技術の発達		環境の保全	
情報技術の発達		設計手順	
技術と生活		製作工程表	
技術と環境		製作品に必要な機能	
技術とエネルギー		製作品の丈夫な構造と接合力	
身の回りの製品に使われている材料の違いや特徴		製品の使用目的に応じた材料の選択	
技術と資源		製作品の機能に応じた構造	
エネルギー資源の有効利用		材料の特徴を生かした使い方	
リサイクル		新素材	

A2 材料の使い方

木材の伐採から製材まで		金属材料のつくり方(製鉄など)	
木材・金属以外の材料の名称と種類		木材の各部の名称と構造	
木材の種類と構造		木質材料の種類と特徴	
木材の強さ		木材の性質	
金属材料の種類と特徴		金属材料の強さ	
金属材料の性質		プラスチックの種類と特徴	
接合材料			

A3 構想のまとめ

等角図		キャビネット図	
三角法		線の用途と種類	
尺度		製図用具の使い方	
部品図		材料取り図	

A4 製作

工作機械の点検		導通試験	
絶縁試験		電源プラグ	
回路計		配線機具の安全な取り扱い	
電気用品の安全表示		接地線の接続方法	
漏電による感電事故の防止		電気回路	

5 , 今回の改訂実施にあたって、改訂以前と比べて最も良くなったと思われる点、また、悪くなったと思われる点について、あなた（記入者）の考えをお聞かせください。

6 , 貴学校、又は記入者のメールアドレスをお知らせ下さい。

E-mail _____

* ご協力ありがとうございました *